

2020

4

Vol. 171

- タウン情報 -

きくがわ



菊川中学校区家庭教育支援チーム

ボランティア募集

菊川の家庭教育を支援する活動を、主に平日の日中に、小学校・中学校・保育園・幼稚園・市民センターなどで行う予定にしています。私たちと一緒に活動しませんか？いつでも皆さまの申し込みを、心よりお待ちしております。

活動内容

- 保護者や親子が学べる・つながる「企画作成及び実施」
- 保護者同士が気軽に交流できる「居場所作り」
- 保護者を助ける「家庭教育だよりの発行」
- 保護者の悩みや関心ごとを専門家と「一緒に聞いてあげる」など

募集したい人

- 菊川地区にお住まいで、当チームの活動に興味

のある方

- 教職経験者、大学生、ボランティア実践者、民生委員、児童委員、児童健全育成経験者、スクールソーシャルワーカーなど

まずはお電話

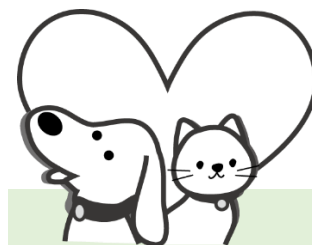
菊川市民センター ☎ 0834-62-2801

募集団体：菊川地区家庭教育支援チーム設立準備会(代表 桐山)

■ 主な掲載内容

菊川のひと「樹医 山本雅夫さん」 …P2
菊川深訪「第40回 子宝の聖地」 …P3
住みよい菊川を作る会 活動報告 …P4
わが家のペット大集合 …P4

タウン情報 きくがわ (171号) 令和2年4月1日発行 発行 住みよい菊川をつくる会 問合せ 菊川市民センター 〒746-0082 山口県周南市大字下上2146 ☎ 0834-62-2801



わが家のペット 大集合

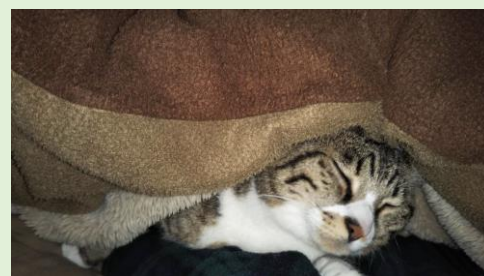
菊川のかわいいペットを集めてみました！掲載可能な写真がありましたら、一言コメントを添えて、広報部(菊川市民センター内)にまでご連絡ください。常時募集中です♪



桜香(おうか)ちゃん
「いつも癒しをありがとう！
健康で長生きしてね♪」



千歳ちゃん
「野生を全く持たないうさぎで、
人の足が大好きです。ジーパンは
穴だらけ、足は傷だらけ！」



モモエちゃん
「ひょっこりいつも可愛いね」

住みよい菊川をつくる会 活動報告

2/2 文化部 節分イベント

菊川市民センターにて、住みよい菊川をつくる会文化部による節分イベントが開催されました。菊川地区住民の方と徳山総合ビジネス専門学校の留学生が参加され、約50名の人が集まりました。様々な具材を組み合わせでのオリジナル巻き寿司に舌鼓を打ち、イワシを焼いて食べたり、豆まきを行ったりもしました。節分を存分に満喫できる、異文化交流イベントとなりました。



2/11 健康体育部会 第35回ハイキング大会

住みよい菊川をつくる会の主催で、2月11日にハイキング大会が開催されました。菊川4地区それぞれの出発地点から、目的地である四熊ヶ嶽下権現広場をハイキングで目指すイベントです。目的地にてぜんざいやバザーで出し物を食べ、ビンゴゲームやもちまき等も楽しみました。晴天の中、ハイキングが楽しめて良かったです。約150名の参加者があり、第35回にふさわしいイベントとなりました。



数字で見る菊川(2月末の人口等)

世帯 3,295 世帯 / 人口 7,945 人 / 男 3,855 人 / 女 4,090 人

【今回の表紙】樹医 山本雅夫さんが寄贈した上野八幡宮境内の梅「白加賀」。

樹医 山本 雅夫さん

今回は、下上在住の樹医である山本雅夫さんにインタビュをしました。山本さんは、周南緑地公園西緑地で活動している公園愛護会「みどりの会11」の代表でもあります。自然の保護に取り組んでおられます。



山本さんは山口市徳地の出身。定年まで東ソーで勤務されていました。

「菊川ではどのような活動をされていますか？」

およそ5年前、菊川地区の公園の木に、子ども達と一緒に樹名板を取り付けました。環境学習の一環として、菊川小学校で緑の案内人として出前授業もしています。木の葉やドングリでゲームをしたり、さつま芋を植えたりしましたよ。

「取り組みに対する思いを教えてください。」

菊川は自然環境に恵まれた地区ではありますが、最近では自然の中に飛び込もうという人は減りましたね。子ども達には、もつと自然に興味を持ってもらいたい。ただ知識を付けるだけではなく体験することで、倫理観、道徳観、感性や想像力を

を育むことができます。

「課題に感じていることはありますか？」

私も80歳になります。あと5〜6年は地域への恩返しと思いがんばるつもりですが、焦りはあります。貴重な木を育てているのですが、後継者も育てなければなりません。私の生活の中にはいつも木がありました。生活に密着した樹木を紹介したホームページも作っているのですが、「みどりの会11」で検索して、そちらもご覧いただけると嬉しいです。

「山本さん、貴重なお話をありがとうございました。」



加見公園の樹木に設置された「樹名板」。

菊川 探訪

第40回 子宝の聖地(臍学の碑)

少子化の時代、子宝は大切である。おっぱい観音で知られる川崎観音は、「子宝の聖地」であるが、「臍学の碑」がある建咲院も、「子宝の聖地」である。ここに安置させた聖観音菩薩も、子宝には因縁がある。徳山藩初代 毛利就隆は、長府藩の秀元の娘(松菊子)を正室に迎えるが、夫婦仲は良好でなく、結局 離縁する。就隆は継室を迎えるが、なかなか男子が出来ず、建咲院に現在ある観音様に祈願して、二代就賢を授かった。

この観音様の東側に、「松永臍学の碑」もある。この碑は、元々 向土井にある頌徳碑であったが、現在は移設され建咲院にある。臍(せい)学とは、正式な名称や言葉であるか調べても判らないのですが、ここでは、「臍(へそ)の緒」の意味で、松永勝子女史はお産婆さんとして、約33年間で千人以上も赤子を取り上げて、近隣の人々から感謝をされ、そのお札の意味で建てられた碑である。この碑の建立は、大正四年(一九一五)であり、松永女史にお世話になり、この世に生を受けたその子孫の数を考えると、菊川地域の現在の発展に大きな貢献である。

この碑は、二百九十五文字が彫られ、松永女史の家族や産婆としての経歴、実績、その評判が書かれている。特に職業婦人として夫に尽くし、夫婦仲もよく、七九歳でも現役で診療もした。又、貧しい人にも、進んで手を差し伸べ、報酬を要求しなかった。勿論現代の様に夫婦共に働く時代でなかったのも、夫もどんなに協力的であったであろう。最後に、「婦女の亀鑑(きかん)」と彫られている。亀鑑と言う言葉は、現代では聞かないが、「行動や判断の基準となるもの。手本。模範」の意味である。

同様に、徳山駅近くの熊野神社の境内にある「重岡夏子彰善碑」がある。松永女史の先輩であり、徳山での産婆免許第一号で、彼女の手で産着を着せられたものは、約二千五百人であり明治三十五年(一九〇二)に顕彰されている。



臍学の碑(建咲院の境内)

お知らせ

新型コロナウイルス感染症に備えた対策をしましょう

● 新型コロナウイルス感染症とは
ウイルス性の風邪の一種です。発熱や喉の痛み、咳が長引くことが多く、強いだるさを訴える人が多いのが特徴です。

● 感染しないようにするためには
石鹸やアルコール消毒液などによる手洗い、咳エチケット、不要不急の外出は控えるなど心がけてください。

● イベントの中止について
4/4「菜の花とさくら祭り」 … 中止
4/19「万年青ふれあい祭り」 … 中止